

# 果樹園芸学ユニット

応用植物科学コース



森永 邦久(教授) 平野 健(准教授) 福田 文夫(准教授)

世界、日本、岡山の果樹を科学！ くだもので生活に彩りを！！

岡山県の特産果樹のモモやブドウなど、くだものの生産性や品質の向上を目的に、障害発生の解決や全国に発信できる基礎的な生理機能研究と共に、地球温暖化に対する環境応答の解析などの応用的な技術開発を進めています。

## 地球温暖化や異なる環境条件が果実の生産性や品質などに及ぼす影響の解析

地球温暖化による高温や温室効果ガス濃度、および温度や降水量などの地域(岡山県北部と南部など)による違いが果実の品質やブドウ、モモの生産性や品質や着色障害などに及ぼす影響を解析しています。



将来の地球環境(高CO<sub>2</sub>、高温条件)下のビニールハウス栽培

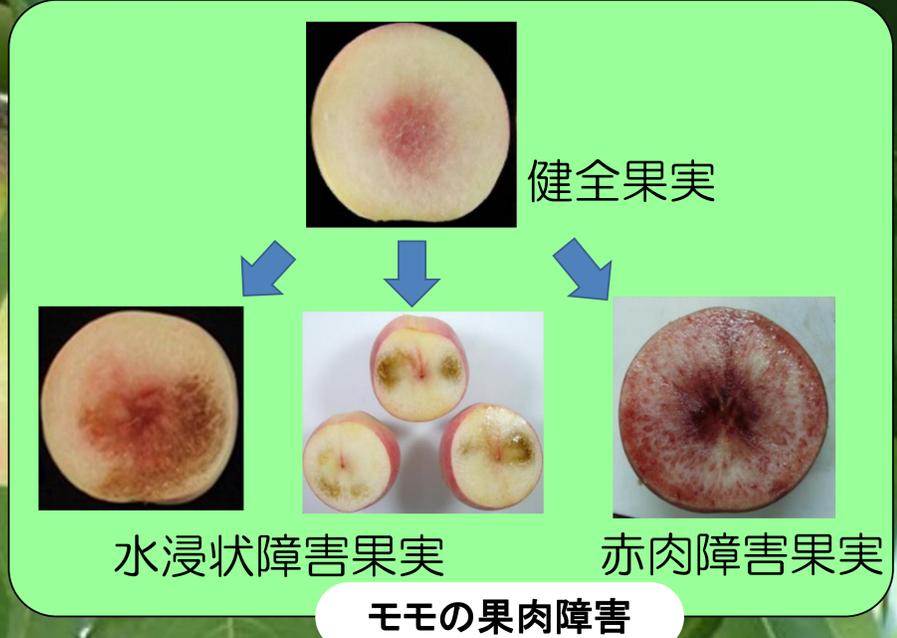


ブドウの着色障害

## モモ果実の生理障害の発生要因と発生機構の解析

果肉障害や収量を不安定にする生理的落果について、発生の原因や機構の解析を行うとともに、防止技術の確立を目指しています。また、モモは果実品質がばらつきやすいことから、それに関わる要因を明らかにし、安定化につなげる技術開発も進めています。

**赤肉果**: 成熟果の果肉にフェノール物質であるアントシアニンが蓄積する現象。果皮着色、果肉内着色とも少ない「白いモモ」として高い付加価値を得ている白桃では、商品価値が著しく低下します。



## フィールドの風景



ブドウ園の風景



モモ園の風景



鉢植え栽培のカンキツ



複合気象装置により県北の気象データを測定